

76期

# 環境レポート



## 1. 環境方針

### 株式会社新潟藤田組 環境方針

株式会社新潟藤田組は、エネルギーの効率的運用による環境負荷の低減と、産業廃棄物の排出を抑え、建設業としての事業活動を通じて以下の環境方針に基づき、新潟地域の環境対策に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献できる企業を目指します。

- 
1. 当社の業務運営に関する環境影響を常に認識し、環境汚染の予防と環境保護を推進するとともに、環境対策活動の継続的改善を図ります。
  2. 当社に関する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
  3. 当社の事業活動に関する環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
    - (1)二酸化炭素排出量の削減
    - (2)資源のリサイクルや節約
    - (3)環境美化活動の実施
    - (4)法令順守
  4. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員に周知します。

上記の方針達成の為に目的を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進します。

2017年3月31日  
株式会社 新潟藤田組  
取締役社長 藤田直也

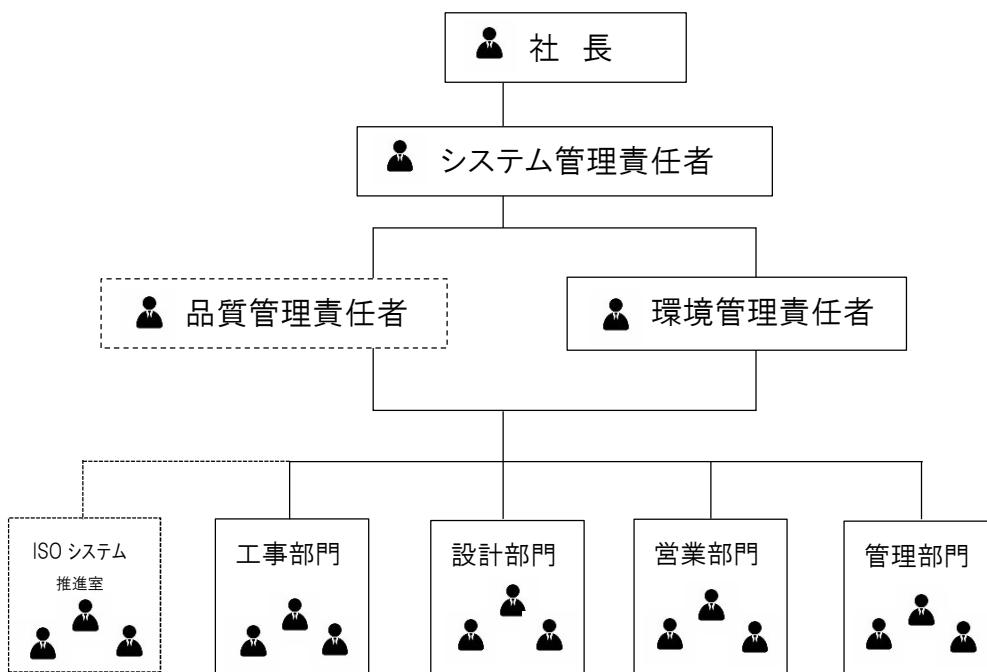
## 2. 企業概要・取り組み体制

### ● 企業概要

社名：株式会社 新潟藤田組  
代表者：取締役社長 藤田 直也  
所在地：新潟県新潟市中央区白山浦2-645-1  
電話：025-266-1166  
資本金：9,000万円  
従業員数：94名(令和7年4月現在)  
創業：大正14年10月

### ● 環境活動の取り組み体制

当社は、下図の組織体制で環境マネジメントシステムを運用します。



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 新潟藤田組は「SDGs」に賛同しています。

新潟藤田組は、「我々は信頼の獲得を大切にし 会社と社員一人一人が 共に成長し発展し 建設事業を通じて社会に貢献する」という経営理念の基、SDGs の取り組みに賛同し、目標達成に貢献してまいります。事業活動のあらゆる側面と社会貢献活動を通じて、社会が抱える問題の解決を目指します。

### SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGs とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」で、社会が抱える問題を解決し、2030 年までに持続可能な世界を実現するための「17 のゴール」と「169 のターゲット」で構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

### 《 新潟藤田組の SDGs への取り組み 》



**自然エネルギーを活用し、  
環境に優しい会社を目指します。**

- ・太陽光発電による再生可能エネルギーの持続的な普及への貢献
- ・土質改良「土のリサイクル」、土壤汚染対策の実施
- ・ZEH、高気密高断熱住宅、省エネ住宅  
(断熱等性能等級 4、一次エネルギー消費量等級 5)
- ・ISO14001 マネジメントシステムによる、CO2・電力使用量・事務用紙使用量削減への取り組み
- ・環境美化活動への取り組み  
(公園整備、信濃川をきれいにする会「クリーン作戦」参加、NPO 森林ボランティア参加)

### 3. 事業における環境活動



## 4. CO<sub>2</sub>排出量チェックシート (76期実績)

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・西蒲(営)

### ●電気・ガソリン使用量

|               | 前期        | 当期目標      | 当期実績      | 削減量目標        | 達成数値<br>(前期に対する当期実績) |
|---------------|-----------|-----------|-----------|--------------|----------------------|
| 電気            | 47,111kwh | 47,000kwh | 45,139kwh | 前期実績以下       | -1,972kwh            |
| ガソリン<br>(社有車) | 26,173ℓ   | 26,000ℓ   | 21,139ℓ   | 前期実績より<br>減少 | -5,034ℓ              |

### ●その他環境に影響するもの

|                  | 前期        | 当期目標      | 当期実績      | 削減量目標  | 達成数値<br>(前期に対する当期実績) |
|------------------|-----------|-----------|-----------|--------|----------------------|
| コピー用紙<br>(A4 換算) | 247,750 枚 | 247,750 枚 | 318,750 枚 | 前期実績以下 | 71,000 枚増加           |

※2 完成工事高・使用枚数比 前年実績の 0.000049 以下にする。

前年実績(0.000049)=使用枚数(247,750 枚)÷完成工事高(4,998 百万円)

※3 当期実績(0.000084)=使用枚数(318,750 枚)÷完成工事高(3,768 百万円)

## 5. 76期年間成果

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・西蒲(営)

### ●電気・ガス・ガソリン

#### □ 電気

前期より1,972kwh 減少。

76期は比較的の降雪量が少なく暖冬が続き、引き続き前期より使用量削減ができた。77期もより一層の節電意識と業務効率化に努めるなど消費電力の削減に努める。また、71期に設置・稼働開始した西蒲技術センターの太陽光発電設備および74期に設置・稼働開始した自家消費型太陽光発電設備による発電量は、9月以降の自家消費型太陽光発電機の不具合により、前期を下回る結果となった。

#### □ ガソリン

ガソリン使用量は前期より5,034ℓ減少。

省エネ車への入替え、省エネ運転、アイドリングストップ活動の推進を行い燃費維持が出来た。数値目標とはしていないが、参考数値として引き続き全社にて取り組んでいく。

### ●その他環境に影響するもの

#### □ コピー用紙

当期実績0.000035増(=使用枚数÷完成工事高)。

完成工事高と使用枚数比で前期実績以下を目標とする。

具体的な施策では、ミスコピー撲滅運動、白紙裏紙の活用、電子化・ペーパーレス化の推進等。

#### ・ゴミの完全分別(本社)

本社分別実施100%。

啓発掲示物等の設置。分別処理と対応するゴミ箱の明示等  
(可燃ごみ、不燃ごみ、再生紙、シュレッダー。)

#### ・環境美化活動

本社周辺及びキング公園を清掃可能な天候の日には毎朝実施。

アダプトプログラムの実施。

信濃川をきれいにする会「クリーン作戦」参加。

NPO森林ボランティア参加。